

## 緊急時の夜間支援の課題について

### 【現 状】

- ・ 夜間緊急に障害福祉サービスが必要となった際に、短期入所に対応すべきであるが、対応できる事業所が少ない。
- ・ 重度の方を受け入れた場合、ベッドが空いていても職員配置等の関係から受け入れられないケースがある。
- ・ 緊急時に依頼があった際に、個人の情報が全くない方について、事業者にとって安全面・サービスの質の確保の観点から受け入れが難しい場合がある。

### 【課 題】

- ・ 本市における短期入所の現状として、ロングショートや定期利用の方がいるために稼働率がかなり高く、緊急時に対応できない状況である。

### 【改善案】

- ① 短期入所事業所を増やす。  
入所施設が増やせない現状のため、短期入所事業所の定員を増やすことは容易ではない。
- ② GH・CHを増やし地域移行を進めることにより、入所施設に空きを確保する。  
本市の現状では、仮にGH・CHが増え、地域移行が進んだとしても入所待機者がいる状況であり、すぐに空きは見込めない。
- ③ ロングショート利用者に対して、数か月に1度は行政と相談支援事業者など関係者で話し合いを持ち、短期入所以外のサービスを働きかける。  
本市としてのルールを作成することにより、対応可能。
- ④ 通所事業所で緊急時の受け皿を拡大する。  
通所事業所において、当該施設通所者に限り緊急時に受け入れることが可能かの検討に入る。